

# クリヤ・マコト Makoto Kuriya

## 内外で注目を集めるジャズ・ピアニスト、音楽プロデューサー

学生時代、黒人コミュニティの影響を受けたクリヤは、極めてソウルフルなプレイが特徴。その繊細な音色の透明感と、鋭いナイフのようなリズムの切れ味が聴く者を圧倒する。海外では、「歌舞伎を思わせるメリハリのあるプレイ」との高い評価を得ており、ピアニストとして、また音楽プロデューサーとして熱い視線を集めている。

### profile



#### ■アメリカ留学時代：ジャズピアニストとしてスタート

神戸生まれ。アメリカ、ウエストヴァージニア州立大学言語学部卒業。

在学中から地元ライブハウスなどで音楽活動を始め。卒業後、本格的にジャズ・ピアニストとして活動を開始し、グラミー受賞者チャック・マンジョーネ、民族音楽学権威ネイサン・デイヴィス教授のグループに参加して全米をツアー。各地のジャズ・フェスティバル、TV番組に出演するほか、ドナルド・バード、トゥーツ・シールマンズ、ジェームズ・ムーディー、トム・ブラウンなど多くの巨匠たちと共演。

また、ピッツバーグ大学でジャズの講師を務める。さらに米国内にて、ファーストリーダー・アルバム「Always Your Friend」をリリース。

1990年に帰国し、日野皓正グループに参加してツアーを行うほか、マービン・スミッティ・スミス、ジェームズ・ジナス、ゲイリー・トーマスなどの旧友を迎えたアルバムを発表。本格的なソロ活動をスタートする。

#### ■国内から海外へ、国境を越えた活動

現在までに18枚のリーダー作をリリース。2011年には、アルバムデビュー20周年記念アルバム「Art for Life」をリリースし、総勢27名の名アーティストを迎えジャズの多様性を表現。2014年には国境、世代、スタイルを越えてグローバル時代のジャズを模索するプロジェクト「クリヤ・マコト・オールスターズ」を立ち上げ、アルバム「NOTHIN' BUT JAZZ」をリリースした。またそれに先立ち、日米欧3ヶ国・3人種混合ユニット「クリヤ・マコト・シルヴェスター・オストロウスキー・クイントット」にて、ファーストアルバム「JUST MUSIC」をリリースした。

オープンで懐の深い音楽性・プロデュース手腕が信頼を集め、数々のコラボレーション、コンサート、イベントのプロデュースを担当。ジャズではマリーン、SHANTI、伊東たけし、MAYA、牧山純子など、ポップスでは平井堅、八代亜紀、土岐麻子などの楽曲提供、音楽プロデュースを行い、数々のCM、番組テーマ曲、映画音楽も手がける。近年はYouTubeを利用した「アドリブコンテスト」を主催し、音楽文化の伝承、後進の発掘・育成にも意欲を示している。

2004年、パリのユネスコ本部大ホールで行われた「国際音楽の日」記念音楽祭にアジア代表として招聘され、ジョニー・グリフィン、ピリー・コブハム、ジョン・ファディスなど、世界的な名アーティストたちと共演。以降、自己のグループにてワールドワイドな活動を展開。Jazzy Colors(パリ)、City Of London Festival(ロンドン)、Jazz Now Festival(シドニー)、Cologne Jazz Night(ケルン)、Tanjazz Festival(モロッコ)、Taichung Jazz Festival(台湾)、Cairo Jazz Festival(エジプト)、Steinway Festival(ロンドン)、London Jazz Festival(ロンドン)など、多くのフェスティバルに出演するほか、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、オーストラリアで数々の公演、セッション、ワークショップを行う。

クリヤのリーダー・グループにて、ハンガリー国营テレビ局で1時間のライブ番組を特集。ポーランド国营ラジオ局にて1時間半のライブ番組を特集。イギリスBBCラジオにて1時間のライブ番組を特集。エジプトの英字紙「アハラム・ウィークリー」に一面掲載。アメリカの国营放送局「Voice of America」のジャズサイトおよびインターネットラジオにて1時間番組の特集。国際的評価を得るアーティストとして、今後益々の活躍が期待されている。

■クリヤ・マコト・オフィシャルサイト：<http://members.jcom.home.ne.jp/tothemax/>

■クリヤ・マコト Twitter：<https://twitter.com/#!/makokuriya>

■クリヤ・マコト FACEBOOK：<http://www.facebook.com/makoto.kuriya.9>

■問合せ・ブッキング＝株式会社ミュージックセラフ 担当＝鈴木直晴

TEL=03-5549-4560 FAX=03-5549-4690 E-mail=suzuki@music-seraph.com

### ■近年の主な海外活動—1

- 2004年10月、パリ・ユネスコ本部大ホール「国際音楽の日」記念音楽祭にアジア代表として参加。



←ジョン・ファディス(tp)、  
ジョニー・グリフィン(sax)、  
ビリー・コブハム(ds)と  
いったジャズの巨匠たちと  
共演しました。  
→今は亡き巨匠、ジョニー・  
グリフィンとのツーショット。



- 2005年11月、パリ、ケルン、ローマ、バーミンガムの4都市5会場を回る欧州ツアーを実施。

ドイツ=ケルン ケルン日本文化会館公演  
イタリア=ローマ ローマ日本文化会館公演  
フランス=パリ Jazzy Colors 出演(2公演)  
イギリス=バーミンガム バーミンガム音楽院 MYJO客演

- 2006年、日豪交流年記念「JAPAN-AUSTRALIA JAZZ ORCHESTRA(JAJO)」をプロデュース。

東京「東京JAZZ 2006」出演  
ブリスベン Power House 公演  
シドニー Jazz Now Festival in オペラハウス 出演  
メルボルン Bennetts Lane 公演



←シドニーの、  
オペラハウス  
内で行われた  
JAZZ NOW  
FESTIVALに  
出演しました。



- 2006年7月、ケルン、ロンドン、パリの3都市5公演におよぶヨーロッパツアーを実施。

イギリス=ロンドン City of London Festival出演(2公演)  
ドイツ=ケルン Cologne Jazz Night出演  
フランス=パリ Franc Pinot 公演(2夜連続)

- 2007年5月、パリ、ローマ、タンジール(モロッコ)の3都市8公演におよぶヨーロッパツアーを実施。

フランス=パリ Didier Lockwood CMDL音楽学校にてマスタークラス&セミナー  
モロッコ=タンジール Tanjazz Festival出演(2公演)  
フランス=パリ Saint Jean Café / Chez Fernand 2公演  
イタリア=ローマ ローマ日本文化会館公演(2夜連続)

- 2008年10月、台湾の「台中ジャズフェスティバル」に、自己のユニットRHYTHMATRIXで出演。



←熱狂的なアン  
コールを受け、  
CDが即座に  
完売した台中  
ジャズフェス  
ティバル。  
←熱心に聴き  
入る聴衆。



## recent activities

### ■近年の主な海外活動—2

- 2010年3月、エジプトの「カイロ・ジャズフェスティバル」に、自己のユニットTOKYO FREEDOM SOULで出演。  
エジプト=カイロ・ジャズフェスティバル(2公演)、音楽院Faculty of musicにてワークショップ
- 2010年3月、ブダペスト、ブリュッセル、ウェールズ、ロンドン、ケルン、パリにてヨーロッパツアーを実施。  
ハンガリー=ブダペスト Kodolanyi John College、リスト音楽院にてマスタークラス  
ハンガリー=ブダペスト Take 5 公演  
ベルギー=ブリュッセル Sounds Jazz Club 公演  
フランス=パリ Chez Papa 公演  
イギリス=ウェールズ Torfaen Jazz Society 公演、翌日セミナー  
イギリス=ロンドン Pizza Express JAZZ CLUB 公演  
ドイツ=ケルン ケルン日本文化会館公演



←熱狂的な反響を得たカイロ・ジャズフェスティバルの様子。

→エジプト最大の発行部数を誇る新聞・アハラム紙に、丸々1面を使ってクリヤの写真とインタビューが掲載されました。

下はクリヤ=オストロウスキー・クインテットが掲載されたポーランドの情報誌Trendy Article ↓



- 2011年4月、パリ、ロンドン、ブダペストにて3都市6公演におよぶヨーロッパツアーを実施。  
ハンガリー=ブダペスト Budapest Jazz Clubにてチャリティーコンサート  
ハンガリー=地方都市 Cegled, Bekescsaba にて公演  
イギリス=ロンドン Steinway Festival出演+BBCラジオ収録、Posk Jazz Cafe 公演

- 2011年、英BBCラジオにライブ出演。米国营放送局Voice of Americaのジャズサイトにて特集される。  
<http://blogs.voanews.com/jazz-beat/2011/06/24/>

- 2012年9月、インドネシアのジャカルタにて「ジャカルタ・ジャパン祭り」、ほかに出演。
- 2012年10月、ローマ、シュチェチン、ブダペスト、パリ、ロンドンにて5都市8公演におよぶツアーを実施。  
イタリア=ローマ 日本文化会館公演  
ポーランド=シュチェチン シュチェチン・フィルハーモニーホール公演  
パリ=Espace Olivier Messiaen公演、L'Improviste公演、Le Canape公演  
ブダペスト=A38公演、翌日セミナー開催  
イギリス=ロンドン ロンドン・ジャズフェスティバル

- 2013年3月、パリ、ロンドンにて公演  
フランス=パリ 日本文化会館 「Jazz in Japan」公演  
イギリス=ロンドン Pizza Express Jazz Club 2デイズ公演
- 2013年4月・11月、クリヤ=オストロウスキー・クインテット・ポーランド・ツアー  
クラクフ、ワルシャワ、セロックにて、春・秋2度のツアー公演。  
ワルシャワ文化科学宮殿ヨーロッパ・ミュージック・フェア出演。

- 2014年4月・9月、クリヤ=オストロウスキー・クインテット・ポーランド・ツアー  
4月: 国営ラジオにて1時間ライブ番組に出演、グダンスク公演。  
9月: シュチェチン・フィルハーモニーホールこけら落とし公演。  
ワルシャワ王宮にてポーランド民主化25周年記念式典出演。  
=コモロフスキー現大統領、ワレサ元大統領のスピーチ後に演奏。
- 2014年10月、ニューヨーク国連本部、ロンドン、ミラノ、ローマにて公演予定。



szereźniak, w tym profesjonalnego koncertu w Warszawie, odbył się 20 października 2014 roku. W ramach koncertu odbył się także pokaz filmu dokumentalnego o Makoto Kuriya i jego zespołach. W ramach koncertu odbył się także pokaz filmu dokumentalnego o Makoto Kuriya i jego zespołach. W ramach koncertu odbył się także pokaz filmu dokumentalnego o Makoto Kuriya i jego zespołach.

### ■近年の主な音楽プロデュース公演

- 2004年にスペシャルユニットを結成し、日本最大のジャズ・フェスティバル「東京JAZZ 2004」に出演。
- 2005年、東京紀尾井ホールにて日経新聞主催「シリーズ“歌”」をプロデュース。
- 2004・2005年、東京紀尾井ホールにて日本楽劇協会主催「山田耕筰・新たな展開」をプロデュース。
- 2007年、東京サントリーホール小ホールにて、日経「WAGAMAGA」ジャズライブをプロデュース。
- 2007年、東京クエストホールにて「シーズン・コンサート秋」をプロデュース。
- 2008年から4年間にわたって、神戸新聞松形ホール「JAZZ ON CINEMA」ライブをプロデュース。
- 2008年から3年間にわたって、大阪りそなホール・産経リビング・スペシャルライブをプロデュース。
- 2009年、東京杉並文化会館にて「カーペンターズ～デビュー40周年に捧ぐ」をプロデュース。
- 2010年、2011年、2013年、東京ヤマハ銀座スタジオにて「Soul Switch」ライブをプロデュース。
- 2011年、東京・銀座ヤマハホールにて「HEART BEAT JAZZ」ライブをプロデュース。
- 2012年、東京ゆうぽーとホールにて「シネマJAZZ ～映画とジャズのオシャレな関係～」公演プロデュース。
- 2012年、東京HAKUJU HALLにてコロムビアレコード「ミュージック・ツリー・ライブ2012」をプロデュース。
- 2013年、2014年、東京稲城iプラザホールにて「ジャズ・ミーツ・ソウル」公演をプロデュース。

その他、詳しくはこちらを：<http://members.jcom.home.ne.jp/tothemax/profile/peformance.html>



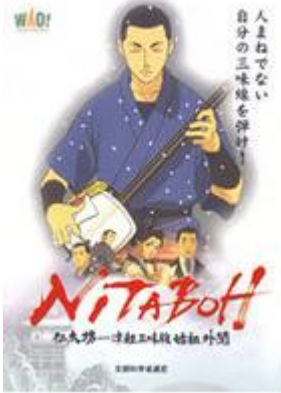
### ■近年の主な音楽プロデュース制作

- 2004年、劇場用アニメ映画「NITABOH～津軽三味線始祖外聞」の音楽監督を担当。
- 2005年、日産ムラーノHPスペシャルコンテンツ用音楽を3年間にわたって担当。
- 2006年、塚本高史主演フィルム「富岳百景」の音楽監督を担当。
- 2007年、劇場用アニメ映画「ふるさと-JAPAN」の音楽監督を担当。
- 2010年、劇場用アニメ映画「8月のシンフォニー」の音楽監督を担当。
- 2012年、BS日テレの番組「TOUGE」のオープニング・テーマを担当。
- 2013年、BS TBSの番組「それが知りたい～ニッポンおもしろいネ～」のオープニング・テーマを担当。
- 商業作品：みずほ証券CM、NHKラジオ第一放送テーマ曲、NHK教育テレビ「おはなしのくに」音楽、萩原聖人主演フィルム「フューチャー～旋律の彼方へ…」音楽、ウド鈴木主演フィルム「一遍上人」の挿入曲、ホンダ・インターナビ・ラジオCM、TBS「ZONE」挿入曲、NHK FM「サタデー・ホット・リクエスト」テーマ曲、ほか。
- アーティスト作品：平井堅、八代亜紀、マリーヌ、SHANTI、伊東たけし、土岐麻子、渡辺美里、さかもと未明、Natural High、佐々木功、MAYA、Meg、はなわちえ、牧山純子、小原明子、上妻宏光、ほか。

その他、詳しくはこちらを：[http://members.jcom.home.ne.jp/tothemax/work/work\\_discography.html](http://members.jcom.home.ne.jp/tothemax/work/work_discography.html)



### クリヤ・マコト音楽監督映画作品



- 『仁太坊-津軽三味線始祖外聞』(上妻宏光参加・2004年)  
第11回リヨン・アジア映画祭 観客によるベストアニメ賞受賞。  
アジア最大の映画祭SICAF2006(韓国)で長編映画部門グランプリ受賞、  
Reel2Real映画祭(カナダ)でベストピクチャー賞受賞、ほか。
- 『富嶽百景～遙かなる場所』(塚本高史主演・2006年)
- 『ふるさと-JAPAN』(2007年)  
第12回リヨン・アジア映画祭アニメ部門・子供映画部門でWグランプリ、ほか。
- 『8月のシンフォニー』(川嶋あい参加・2009年)  
リヨン・アジア映画祭でアニメ部門2位、子ども映画部門3位を受賞!  
第15回リヨン・アジア映画祭(フランス)でアニメ部門2位、子供映画部門3位。

### 最新情報!

#### ■海外媒体

- イギリスBBCラジオ3にて1時間のライブ番組放送。
- ハンガリー国営テレビ局にて1時間のライブ番組放映。
- ポーランド国営ラジオ局にて1時間半のライブ番組放送。
- エジプトの英字紙「アハラム・ウィークリー」で、クリヤ・マコト特集。
- 米国营放送局「Voice of America」のジャズサイト「JAZZ BEAT」でクリヤ・マコト特集。インターネットラジオにて1時間の番組放送。

#### ■テレビ番組・テーマ曲

- NHK BS1「地球テレビエルムンド」、テレ朝チャンネル「源流JAZZ」、NHK神戸「JAZZ LIVE in KOBE」、京都KBS「天台声明のタベ」。
- BS TBS「それが知りたい～ニッポンおもしろいネ～」オープニング・テーマ曲、BS日テレ「TOUGE」オープニング・テーマ音楽を担当。
- 映画「一遍上人」の挿入曲作曲およびカメオ出演。

#### ■ラジオ・パーソナリティ

京都KBSラジオにて「クリヤ・マコトのBEAT ON JAZZ」のパーソナリティを担当。海外ツアーで訪れた国の最新音源や、ジャズのウラもオモテも知りつくしたクリヤのユニークなトークが人気。

#### ■チャリティ活動

東日本大震災の義援金を募るチャリティーライブを、ハンガリーのブダペスト、岡山県、東京などで開催。支援サイトに楽曲提供。東京では「ふんばろう東日本支援プロジェクト」および代表西條剛央氏も参加し、復興の目処がつくまで年1回のペースで継続する予定。また、難病を公表した作家・漫画家のさかもと未明と共に病氣と闘う人のためのCD制作・チャリティーライブを開催。清潔で安全な水を使えるようにするためのユニセフ支援プロジェクトに参加、など。

#### ■話題の作品に多数参加

バイオリンのNAOTO、ソプラニスタ岡本知高、葉加瀬太郎、グラミー受賞プロデューサーのジム・オルーク、人気シンガー土岐麻子、青木カレン、SHANTI、マリーン、演歌歌手八代亜紀のアルバムにも参加。また、世界的に大人気のアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズ・サウンドトラックに、テレビ放映当初から現在まで参加。



Disc Review | Washington, DC — Japanese pianist Makoto Kuriya's album called Air for Life. The release coincides with the 20th anniversary of his arrival in the U.S. He has the American classic and modern jazz skills in Washington, DC, industry. Famous Jazz Alley in Georgetown and One Beat Down near the city.

Makoto graduated from West Virginia University with a major in film, attention to studying music. During his 11-year stay in the U.S., he has the American classic and modern jazz skills in Washington, DC, industry. Famous Jazz Alley in Georgetown and One Beat Down near the city.

**源流 Jazz**  
CSテレビチャンネルで、放送対象地域中の「源流Jazz」は、最新のソニー・ミュージック・エンタテインメントの最新音源を、最新のライブパフォーマンスをお楽しみいただけます。

クリヤ・マコト  
日本の音楽界で、最も多くの賞を受賞し、40以上のアルバムをリリースした。その中でも、最も人気のあるアーティストとして、最も多くの人々から愛されている。その中でも、最も人気のあるアーティストとして、最も多くの人々から愛されている。

32 00:00 ON AIR



朝チャンネル  
10:00-11:00

## クリヤ・マコトの音楽とは

新作「NOTHIN' BUT JAZZ」のライナーノーツの中で、ハービー・ハンコックと最も近い日本人批評家である高木信哉氏の証言により、ハンコック氏の「最も好きな日本人ピアニスト」がクリヤ・マコトであると明かされました。これは技術や知名度ではなく、ジャズの最も重要な要素である「自由な発想」に対する評価でした。事実この点が、クリヤ・マコトのピアニズムを特徴付ける最たるものです。

### ■FMテーマ曲

クリヤ・マコトさんは、目に見えないモノ、雰囲気だとか気分だとかを音楽に置き換えるのが実に巧みな方である。私の担当するFM番組のテーマはクリヤさんにお願いした作品だが、番組のコンセプトを見事に表現してくれている。

—松平保久(放送番組プロデューサー)

### ■劇場用アニメ映画音楽

クリヤさんにはこれまで、アニメ映画3作品で音楽監督を務めてもらった。いずれも音楽の役割が大きい作品だったため、世界的に活躍し高い音楽性とオリジナリティを持つクリヤさんをお願いした。結果は海外の映画祭でも好評を得、チェコ、フランス、韓国などで様々な賞を受賞。特に音楽に対する評価は非常に高かった。

—村上匡宏(ゼネラル・プロデューサー)

### ■日産ムラーノ・サイトコンテンツ

日産ムラーノではWEBによるマーケティングを強化し、「セッション」をテーマに2005年からコンテンツを制作している。その音楽をクリヤさんに担当してもらい、毎回本格的なジャズ・セッションをレコーディングした。普通商業音楽の世界で、一人のアーティストに3年連続で音楽をお願いするということはめったにないが、ムラーノWEBでは3年間継続してクリヤさんを起用し、ついにCD化も実現した。(右下ジャケットのアルバム) —博報堂DY担当者

### ■東京JAZZ

クリヤ・マコトさんは、あらゆるジャンルの音楽をジャズの世界へ融和させ、国際都市東京のあらゆる局面を表現することができるピアニスト。世界中の方には是非聴いていただきたい、日本で最も重要なアーティストの一人です。

—八島敦子(ジャズフェスティバル・プロデューサー)

### ■クリヤ・マコト・ライブ(アンケートより)

「クリヤ・マコトの生演奏を聴くと、身体の力が抜け素の自分と向き合えます。明日からまた頑張ろうと思いました。」  
 「楽しかった！の一言！音の重なりとアレンジが素晴らしくて、1stからアンコールまで笑顔になりっぱなしでした。」  
 「東京、ニューヨーク、ニューオーリンズ以上の、宇宙レベルの最高のライブでした。」  
 「徐々に“圧倒されるピアノ”をきいてしまいました…！すごすぎです！五感、どころか全身で堪能させて頂きました！呆然です！この楽器からこんな音まで出るのか！新しい発見と感動、そして思いが伝わってきて素晴らしかった！」  
 「名曲“The Voyager”、頭の中に宇宙から見る地球の映像が見えるようでした。やみつきになりそうです。幸せな時をありがとうございます。」  
 「鳥肌が立ちます。心がふるえる。上手言葉で表せない。宇宙的、BRAVO！！」  
 「一生の思い出に残る一夜となりました。こんな時間を過ごす、生きてよかったと心底思います！」……

### ■海外

—The performance of Mr. Makoto was acclaimed very successful and impressive with a strong musical opening that showcased the technical excellence of the musicians! Audience of CJF reacted highly to that performance as the show went in an ascending energetic flow!! (Cairo Jazz Festivalプロデューサー)

—The performance will undoubtedly be a show to remember, as it will be a colossal of two extraordinary pianists coming together expressing their musical minds and inspirations! (音楽プロデューサー)



### ■クリヤ・マコトに関する問合せ・ブッキング

株式会社ミュージックセラフ担当=鈴木直晴

TEL=03-5549-4560 FAX=03-5549-4690 E-mail=suzuki@music-seraph.com